

# うれしの市議会だより

Ureshino City Council

2019 Vol.52

平成31年1月29日発行 発行 嬉野市議会 / 編集 議会広報編集特別委員会 〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



**12月補正予算…可決!**

**新市長の思いを形に…新部設置**

**議員とかたろう会…執行部へつなぐ**

**ときの人…中学校駅伝・男女優勝**

4億8千万円増額補正 ..... P2~4

市民からの陳情 県・市へ ..... P5

真剣そのもの・子ども議会 ..... P8~9

14名が論戦・一般質問 ..... P10~19

ときの人 話題の市民シリーズ ..... P22

新時代へスタート!(第1回みゆきパークラン)

平成30年  
第4回

# 定例会

## 一般会計 総額

170億7,649万円

前年度比  
3.7%増

繰越金を  
基金に  
積み立て

消防署移転や  
学校エアコン  
設置に  
一般会計4億  
8,167万円  
補正

平成30年第4回嬉野市議会定例会は、12月6日から12月21日までの16日間の日程で開催されました。提出された議案は条例の一部改正10件、平成30年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算9件、建設工事請負変更契約の締結3件合わせて21件を慎重審議し、全議案可決しました。  
(賛否表は7ページ)  
条例の主なものとしては、機構改革のため嬉野

市部設置条例の一部改正が提案されました。また、嬉野公民館は来年度嬉野市うれしの市民センターに移行し、嬉野市公会堂は耐震強度不足のため、両施設を廃止する条例の改正となりました。  
さらに、放課後児童クラブ負担金徴収条例は利用者負担金の変更のため、条例の一部を改正するものです。  
一般会計補正予算(第4号)は歳入歳出それぞれ4億8,167万円を追加し、補正後の予算総額170億7,649万円となります。

市内小中学校の普通教室以外の特別教室等に、エアコンの増設及び更新の経費として8,994万円などです。  
特別会計については、決算に伴う予算調整等の補正となっております。  
建設工事請負変更契約の締結は嬉野市中央体育館とうれしの市民センターの工事に伴うものです。  
平成29年度決算の繰越金は4億2,974万円となり、二分の一の2億1,689万円を財政調整基金に積み立てています。また、市民の方から頂いた寄附金300万円を教育環境支援基金として積み立てました。  
今議会では14名の議員が一般質問を行い、執行部に対し鋭い質問と政策提案を行いました。  
(10ページから掲載)

(単位 千円)

会計名		補正額	補正後の総額
一般会計		484,673	17,076,493
特別会計	国民健康保険	77,225	3,490,018
	後期高齢者医療	592	352,020
	農業集落排水	0	383,602
	公共下水道	0	447,601
	市営浄化槽	0	159,145
	第七土地区画	12,171	83,176
	第八土地区画	0	43,912
	駅周辺土地区画	0	200,644
水道事業	収益的支出	11,347	666,557
	資本的支出	6,244	384,759

# 消防力の強化へ 消防施設整備事業 300万円

建築後44年が経過しており、建屋の老朽化と訓練スペースを確保し、新しく建設するため、用地の測量費用として300万円が予算化となりました。

管轄する消防署の計画的な整備を行っており、今回嬉野消防署が対象となりました。敷地の確保と造成については、各市町が負担するものとなっております、その後杵藤地区広域圏組

合が建屋を建設して、新たな嬉野消防署として駅周辺に整備されます。消防力の強化と医療センターとの連携も含め、市民の安全安心へつながることに期待します。

**問** 場所はどこか。

**答** 新幹線嬉野温泉駅（仮称）にも近い今寺地区である。

**問** なぜここにするのか。

**答** 嬉野市公有地のなかで立地条件や面積等を検討し、公共下水道計画用地として所有していた用地の活用となった。

**問** 面積は。

**答** 6,542平方メートルであり、建屋以外の用地は消防の訓練、また市民のレクリエーション等にも使えるよう整備する。

# 異常気象から子どもを守れ 空調機設置事業 8,994万円

近年の地球温暖化と思われる夏場の猛暑により、年々教育環境が悪化している状況であり、今後も高温傾向は続くと考えられます。

他市町に先駆けて、市内小・中学校の普通教室においては、エアコンが完備されてきました。

しかしながら、今年嬉野市において、観測史上最高気温を記録するなど、利用頻度の高い特別教室等にもさらなる熱中症対策が必要であることから、今回の緊急予算を活用し新規設置や更新するために、エアコンの整備事業が予算化されました。

子育てしやすいまちづくりを目指して、今後も教育環境の整備は重要な施策だと考えます。



▲更なる教育環境の改善へ

**問** 対象となる場所は。

**答** 普通教室は平成26年に設置を完備していたが、近年の夏は連日の猛暑で、音楽室や理科室等の特別教室への設置が必要であるとの判断から新設と既存の教室の老朽化したエアコンの更

新をする。

**問** 設置台数は。

**答** 市内各小学校に新設として16台、更新が8台。各中学校に新設として9台、更新が4台となっている。



▲駅周辺に移転

# 組織が変わる

## 嬉野市部設置条例の一部を改正する条例について

第2次総合計画に基づき各種政策を推進し、事務事業を迅速かつ確実に執行するため、嬉野市部設置条例の一部を改正する条例が可決し、平成31年4月1日より施行されます。

今回、広報力の強化と市民ニーズの確かな把握により対応の迅速化及び政策情報の集約・整理機能を

強化し、新たな政策事業

などへの取り組みに対応可能な組織とするため、課の新設、統合など組織を改編し、合わせて事務分担の見直しを行うものです。

主な内容としては、行政経営部（危機管理監）・総合戦略推進部・産業振興部が設置され、会計管理者は部長級から課長級へ変更になり、現在の6部

長から7部長になります。

市は、市民に対し十分な説明を行いながら、この改革が行政サービスの向上につながることを望みます。

**問** 部長職や課長職が増え、現場のマンパワーが不足するのでは。  
**答** 今後採用を増やしていく。

### 平成31年4月1日付け機構改革

塩田庁舎		嬉野庁舎
部	課	課
行政経営部 (危機管理監)	総務防災課	(総務防災課)
	財政課	
総合戦略推進部	企画政策課	新幹線・まちづくり課
	広報・広聴課	
市民福祉部	市民課	(市民課)
	健康づくり課	福祉課
	子育て未来課	
	文化・スポーツ振興課	
産業振興部	農業政策課	(農業政策課) うれしの茶振興室
		観光商工課
建設部		建設・農林整備課
		環境下水道課
		水道課
	会計課(会計管理者)	
教育部	教育総務課	
	学校教育課	
議会事務局	事務局	
監査委員	事務局	
選挙管理委員会	事務局	
固定資産評価 審査委員会	事務局	
農業委員会	事務局	

※市長部局は5部16課

※課名については変更の可能性があります

平成31年4月より放課後児童クラブの負担金条例の一部が改正されます。この事業は、平成25年度より嬉野市全域の児童クラブを社会福祉協議会へ委託され、現在は12クラブで運営されています。学童保育に対するニーズが年々高まり、国の方針等により、来年度は14クラブに増設されます。クラブの増設や対象学年の

# 利用者負担金が変わる

## 嬉野市放課後児童クラブ

見直しによる利用者の増加、また支援員不足を補うための処遇改善や利用時間の延長等により、運営費が年々増額となっています。そこで、他市町の状況を踏まえながら、今回、この利用者負担金の改定となりました。子どもたちの健全育成につながり、保護者の方がこれまで以上に子どもを安心して預けられるような事



▲安心安全な居場所づくりを

業になることを望みます。  
**問** 改正の内容は。  
**答** 1か月の利用料が2,000円から3,000円に、また、土曜日に利用する場合は月額に1,000円が加算になる。  
**問** 学校の休業日に限り児童クラブを利用する場合は。  
**答** 春季、冬季、学年末の休業日は2,000円から3,000円、夏季休業の期間は4,000円から6,000円に改定される。

# 意見書

## 地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。
2. 急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は廃止・縮小の検討を行うこと。
4. 防災・減災事業は、重要であり地方交付税算定のあり方を検討すること。
5. 所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
6. 国税4税(所得税法人税酒税・消費税)に対する法定率の引き上げを行うこと。
7. 自治体の基金残高を、地方財政計画や地方交付税に反映させないこと。

## 頭首工(可動堰)の保全に対する支援増に関する意見書

嬉野市の中小河川では河川災害が多く発生していたが、国・県は昭和30年から治水対策としてダム建設や河川改修工事を実施し、水害は格段と少なくなった。水田の取水目的の固定井堰が河川改修工事により鋼製可動堰へと整備された。

建設後15年から20年余り経過し、機械等の経年劣化のより複数の修理が頻繁に増えている。油圧シリンダーや油圧配管等の取り換えは修理費用も高額であり、受益者負担が重くのしかかっている。



▲安心安全な豊かな暮らしを守るため

人口減少、特に農家数の減少や高齢化、農業後継者不足など現実化し、維持管理に苦慮している。農業の活性化や農地保全対策、住民の安全・安心な生活を守るためには、頭首工の保守整備を続けていく必要がある。以上の理由で受益者負担の軽減を図るための財政支援を要望する。

陳

情

市民の  
声を  
議会へ

## 地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書

歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指す必要がある。

全日本自治団体  
労働組合佐賀県本部  
執行委員長  
石橋 正純

## 「本通りの一方通行の永続化に反対」に関する陳情書

本通りの一方通行に反対の陳情を審議することを願います。

嬉野温泉商店街の本通りを考える会  
代表  
古賀 嘉人  
外4名

## 看護学校運営費市町補助金の算出基礎見直しについて

看護師等養成事業の高い公益性を考え、市町運営補助金の見直しを願います。

鹿島藤津地区医師会  
立看護高等専修学校  
校長  
下河辺 和人



▲本通り社会実験の様子

議案  
第114号

嬉野市部設置条例の一部を  
改正する条例について

反対

山口 虎太郎

議員

嬉野市部設置条例の一部を改正する条例について。

反対

諸井 義人

議員

国の会計管理者の位置づけを見ても、副市長と同格の重要な機関位置づけとなつている。監査において国、県、議会、市民から受けるが、その責任者が課長でいいのか。国は執行機関の事務執行を補助するための機関とあり、県内各市において会計管理者は、部長級として7市が置いてあり、責任は重い。

会計管理者は全体のバランスを見極める重要な人材登用も必要と考える。

よって部長級から課長級への変更に反対する。

賛成

森田 明彦

議員

村上市政で初の機構改革案が示された。

課題山積のなか、どのような行政の舵取りが求められるのか、先日の議案質疑では、8名の議員による質問に、自身の考えを基に丁寧な説明をなされた。

特に、経営感覚をもつて行政運営に臨む姿勢を鮮明にされたことは、正に重要なことだと思う。

また、嬉野市は、数年後に新幹線嬉野温泉駅の開業という、今まで経験したことのない大きな夢に向かつている。それに向けた体制整備にも期待したい。

今回、若干の懸念も示されている。数年後に実績として評価をされるように、しっかり取り組んでいただきたい。このことから、この条例改正案に賛成する。

賛成

諸上 栄大

議員

先日の議案質疑において多くの議員より質問があった。その中で市長は「自分の分身として事業を迅速にかつ的確に遂行できるよう、部長の権限の強化を図るため機構改革を行いたい」と答弁された。また、

新幹線開業年の2022年に向けて、駅周辺の街づくりを、スピード感をもつて取り組みたい」とも答弁された。

確かに、新幹線駅周辺の事業については待ったなしの状況であり、その他、企業誘致や定住促進、医療センター跡地の有効活用、子どもセンター整備等、並行して取り組むべき事項は多く、また多岐にわたりそれを遂行するためには、今回の機構改革は重要であると考え賛成の意を表す。

賛成

梶原 睦也

議員

市長公約の実現のために1年かけて考え抜いたうえでの機構改革の提案であると受け止める。特に部長職に関しては市長の分身としての位置付け、また専門知識を持った人材の導入、さらには課長職の増加と共に専門性も求められその責任も大きくなっている。それらは、今般の本市を取り巻く状況や多様な業務に対する為であり、多少の人員費の増加に対しては、いわゆる行財政改革に大きく反するものではなく、非常時の対応として致し方ないと理解するところである。

今後、多少の軌道修正は必要になるかもしれないが、今の本市の状況に鑑みれば必要な条例案であり賛成の意を表す。

賛成

川内 聖二

議員

今回、部課長職が増員されたので、せめて全部長の兼務にて管理職の人員を減らして、マンパワー不足の解消を行い、機構改革を目指してもらいたかった。現在の本市が直面する課題として駅周辺の取り組みや企業誘致ビルへの対策、医療センター跡地問題、さらに来年度から始まる森林経営管理法による林業振興に対するの取り組みなどがあ

このような政策に対し、部長の権限の重要視や、マンパワー不足の対策等に対する市長の考えも伺った。今後、各種政策に対し市民に理解して頂ける新しい嬉野市を作るためには、これまで以上に職員が丸となり、業務遂行に努めるためにも、新しい組織体制を整備しなければならぬと考える。よって、この条例改正に賛成する。

# 白熱した 討論

議案  
第119号

嬉野市放課後児童クラブ  
負担金徴収条例の一部を  
改正する条例について

反対

山口  
虎太郎  
議員

放課後児童クラブ負担金徴収条例の一部を改正する条例について。

市長は子育て日本一を政策に掲げるなか、

反対

山下  
芳郎  
議員

議案質疑で質問し、説明を受けたが、納得できない。

理由として、現状より50%アップであり、掛かる経費を保護者負担でなく、ふるさと納税、又は、子育てに伴う財源を充てるべきではないか。

市長は、選挙戦で子育て世代を支えたいと公約された。

保護者への負担増には納得できない。厚生労働省が進める放課後児童健全育成事業実施要綱を調べてみても値上げの理由にはあたらな

いのではないかと考える。議案質疑でも質問した。よって、この改正に反対する。

佐賀県で一番利用者負担の少ないこの事業と子ども医療費の無料、学校のエアコン設置の完備などをアピールして「子育てしやすい環境の整った嬉野市」として市内外からの移住・定住を促進し、若者の人口減の歯止めとなるよう集中と選択をすることで嬉野市の特徴を生かした政策を図るべきである。以上の理由で反対する。

○は賛成 ●は反対

議長は採決に加わりません。

## 私はこう判断

### 賛 否 表

議案番号	議案名	結果	表決数	番号														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
				山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎一徳	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	梶原睦也
議案第112号	嬉野市中央体育館駐車場条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	嬉野市部設置条例の一部を改正する条例について	可決	13:2	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号	嬉野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号	嬉野市放課後児童クラブ負担金徴収条例の一部を改正する条例について	可決	13:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第120号	嬉野市公会堂条例を廃止する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第121号	指定管理者の指定について(嬉野総合運動公園、鷹ノ巣公園、轟の滝公園、嬉野市体育館、嬉野市中央体育館)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第122号	平成30年度嬉野市一般会計補正予算(第4号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第135号	嬉野市教育委員会委員の任命について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第9号	頭首工(可動堰)の保全に対する支援増に関する意見書について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 議員とかたろう会を開催

平成30年第17回の「議員とかたろう会」は、7月23日から26日までの4日間、市内8カ所の地区で開催しました。

老人会の皆様に依頼をし、多数のご来場をいただきました。今年はテーマをもつけ、それぞれの地域の問題点や市政において皆様から意見や要望をお聞きし、執行部へ伝えました。その一部を報告します。(その他の質問事項についてはホームページに掲載しております。)

**Q** 塩田川堤防の強化・かさ上げは。

**A** 建設新幹線課 杵藤 土木事務所につなげる。

**Q** 西部公園の駐車場一部をグラウンドゴルフ場として整備できないか。

**A** 財政課 塩田地区コミュニティ運営協議会及び地元と協議中である。

**Q** 志田焼の里に冷房設備やトイレの増設はできないか。

**A** うれしの温泉観光課 補助事業の活用も含め協議していく。

**Q** 県道橋山入口付近に防犯灯の設置ができませんか。

**A** 総務課 市で県道に防犯灯を設置する事業はなく、杵藤土木事務所や地区の防犯協会にご相談いただきたい。

**Q** 有害鳥獣・川鵜の駆除をできないか。

**A** 農林課 早急に駆除・飛来防止対策が必要であるが、河川内であるため、銃猟の制限がある。

**Q** 観光施設(轟の滝公園、俵坂関所跡、キリシタン史跡等)の駐車場や道路環境整備をできないか。

**A** うれしの温泉観光課 利便性向上のためできるだけ対応していきたいが多くの費用がかかるため、必要性や優先順位等を含め検討する。

**Q** 災害時の避難について

て準備、勧告、避難指示の基準をわかりやすくしてほしい。

**A** 総務課 ハザードマップに「水位と避難に関する情報」や「大雨に関する情報」について掲載しているが、今後詳しく掲載したハザードマップを作成する。合わせて丁寧な避難情報呼びかけよう努める。



▲住民の声に耳をかたむける(久間地区)



(吉田地区)▶



14議員が質問

諸井 義人 議員  
(P10)

森田 明彦 議員  
(P11)

芦塚 典子 議員  
(P12)

川内 聖二 議員  
(P12)

山口 忠孝 議員  
(P13)

山下 芳郎 議員  
(P14)

梶原 睦也 議員  
(P14)

諸上 栄大 議員  
(P15)

辻 浩一 議員  
(P16)

山口 虎太郎 議員  
(P16)

宮崎 一徳 議員  
(P17)

増田 朝子 議員  
(P18)

山口 卓也 議員  
(P18)

宮崎 良平 議員  
(P19)

# 子ども模擬議会が開会

正々堂々、市長・教育長と激論



▲ 1 限目 (否決 0 : 6)



▲ 2 限目 (可決 6 : 2)

平成30年11月18日、商  
工会青年部主催の職業体  
験事業「ドリームハンズ」  
未来の主人公」が開催さ  
れ、嬉野市議会も協力いた  
しました。

この事業は、市内小学校  
4年生から6年生を対象に  
したもので、美容師や看護  
師、大工、パティシエ、薬  
剤師、(他多数)などのい  
ろいろな職業を体験できる

ものとなっています。  
市議会では、できるだけ  
子どもたちに本物を体験し  
てもらえるように議場にて  
本議会さながらの形式で開  
催されました。

村上市長より「2023  
年国民スポーツ大会・全国  
障害者スポーツ大会におい  
て嬉野市内全児童の参加  
を推進する条例」の提案が  
あり、賛成・反対それぞれ  
の立場で、大人顔負けの活  
発な討論が繰り広げられま  
した。

どの感想があり、将来この  
地域や国を担うであろう子  
どもたちに大きな期待を抱  
いた議会でありました。  
政治離れが著しい昨今、  
投票率の低下などにも影響  
を及ぼす状況であり、我々  
市議会は、子どもたちや市  
民の皆さん方に更に政治に  
関心を持っていただくよう  
より一層の努力をしていか  
なければならぬと、痛切  
に感じ、今後の議会改革に  
役立てていきたいと思いま  
す。

ドリームハンズ 議員体験参加者名簿

		氏名	小学校	学年
1 限目	1	楠田 ひめ乃	久間	4年
	2	中園 隆	塩田	4年
	3	瀬頭 那央	塩田	4年
	4	池田 翔真	五町田	5年
	5	磯見 千夏	嬉野	6年
	6	井下 舞音	嬉野	6年
2 限目	1	宮崎 大和	五町田	6年
	2	桑原 愛美	五町田	6年
	3	坂本 蓮菜	五町田	6年
	4	諸上 創大	嬉野	4年
	5	福田 瑞樹	轟	4年
	6	奥山 鈴夢	吉田	5年
	7	山口 美咲	吉田	5年
	8	山口 昌暉	吉田	5年

# ここが知りたい ここが聞きたい

14議員が登壇



**諸井** 塩田中が県内2校目のアベック優勝ができた要因はどこにあるか。

**教育長** 子どもたちの不断の努力により、心技体が充実した結果であり、指導者の熱意、保護者の暖かいサポート、地域の応援などうまく絡み合ったことである。

**スポーツ環境整備を進めよ**

**諸井** 市民が、交通事故や不審者に合わないような安心・安全な、また雨の日でも利用できるランニングコースやクロスカントリーの施設整備はできないか。

## 駅

伝男女優勝快挙を  
どう受け止めたか

諸井義人議員

**答** まち全体で喜びを分かち合いたい

**文化・スポーツ振興課長** 今

ある施設の中で、みゆき公園や塩田の中央公園はグラウンドの外周を一周できるの、距離表示の設定をするなどできないか研究していく。

**農地中間管理機構はどうなる**

い地域の原因はどこか。  
**市長** 白石平野や佐賀のように平坦地で条件が有利なところは進む傾向にある。嬉野市では五町田周辺においては、かなり進んでいる。

**諸井** 農地中間管理機構では、人・農地プランを正確に作る事が大事といわれている。嬉野市ではどうなっているか。

**諸井** 農地中間管理機構での農地の集約をどう捉えているか。

**市長** 中山間地が多く難しいが努力していきたい。

**諸井** 農林水産省は、将来的に80%の農地を集約する目標を掲げているが、嬉野市では現在のどのくらいか。

**農林課長** 農水省の資料のとおり40%から60%になる。

**諸井** 県内でも進んでいる地域と進んでいない

**農林課長** 昨年度までに6回の見直しを行ってきた。生産組合長、再生協議会、農業委員、集落営農、県の機関などの各団体の代表者等でプランの見直しをしている。

**諸井** 農協の農地集積機構は廃止になったが、どうなるのか。

**農業委員会事務局長** 農地法の改正で農業最適化推進委員が設けられ、業務内容は同じであり、現在活動している。



▲やったー！優勝だ！

# 一般質問

活発な論戦

**森田** 現状で、進んでいる状況という事だが、全国的な銀行連合が取り組む予定のスマホ決済が話題になっている。比較検討された経緯はあるか。  
**市長** 新聞報道にも載っており、今後増えていくと思うので、研究する必要があると考える。

キ

## キャッシュレス決済方式の進捗状況は

森田明彦 議員

### 答 順調に進んでいる



**森田** 現在、市内防犯灯設置の進捗状況は。  
**総務課長** 3,087基を把握しており、その内、平成29年度までに1,183基をLED化した。  
**森田** 第七区画整理地区で、新幹線駅からまち部へ入る道路周辺は住宅も増えているところだが非常に暗い。設置計画はあるのか。  
**市長** 確認したが、やはり暗いと認識する。新幹線駅の開業に伴い、来訪者の市街地への動線として重要な路線となるので、今後検討していく。

**森田** 特に嬉野は、国際観光都市として、インバウンドのお客様に、まち中でも消費活動をしてもらうため、関係団体等と連携して研究するべきだと思いがいかかか。  
**市長** 観光地として、また、商店の活性化のために、キャッシュレス決済導入の仕組みについて勉強会を開くべきだと認識している。  
**防犯灯の増設計画は**

**森田** 制定後の具体的な取り組みをうかがう。  
**市長** 市民対象の研修会や市職員による手話研修をおこない、CATVやユーザーチューブでの配信をして普及に努めている。さらに、学校現場では、心の教育の中でも取り入れられている。



▲進むキャッシュレス化

**手話言語条例の取り組みは**  
**森田** 健康ウォーキングなどは愛好者も多く企画してはどうか。  
**市長** 健康づくりであったり、嬉野市の自然を満喫するイベントの発着点として積極的に活用していきたい。

**森田** 轟の滝見学等の観光バスの駐車場としての活用は考えられないか。  
**市長** 十分考えられるので、活用していただくよう関係機関にお願いをする。

# 駅

周辺整備は、  
長期的構想で

芦塚典子議員

答 官民連携事業で



**芦塚** 駅周辺まちづくりの構想は。

**市長** 温泉・お茶・焼き物・自然を生かした癒しの玄関口として整備したい。

**芦塚** 鹿島や太良、東彼3町、ハウステンボスからのアクセス道路、ビジネスの拠点として、西九州のハブ駅にする実現の用途は。

**市長** 広域連携を図り、2022年までに短期集中して整備していく。

**芦塚** 財源は。

**市長** 有利な起債や補助事業等、国の支援を受けたい。

**芦塚** 国交省・県・地

銀と連携し、公社組織で、フアランドを活用し、長期的なグランドデザインとして駅周辺まちづくりを進めてはどうか。

**企画政策課長** まちづくりフアランド支援事業は、説明会等開催し今後活用も視野に入れる。

**高校とタイアップしたUターン事業を**

**芦塚** 高校生が商店や農家の人たちの写真を撮りポスター展開催など、また地元ソングやショートムービーを作り、写真集を成人式に配るという高校とタイアップしたUターン施策はできないか。

**市長** 地元を知り、地元で働き、地域の人と触れ合いながら生きていくという意味で高校とのタイアップ事業は重要だと思う。

# 源 泉集中管理に 対しての見解は

川内聖二 議員

答 努力を続けるべきだと思う



**川内** 源泉モニタリングシステムの趣旨をうかがう。

**市長** 温泉資源の保護をする観点から取り組む。

**川内** これまでに、湯量が不足した現象があったのか。

**市長** 嬉野インターチ



▲源泉を守れ！

エンジン開設時、観光客が急増し、温泉の水位が急激に下がり関係者が危惧した経緯があり、今回のモニタリングシステムの議論が始まった。

**川内** 今後、新幹線が開業し、急激に観光客が増えた時の対策は考えているか。

**市長** モニタリングの結果を踏まえ、湯量を調整していく方向を源泉所有者会議で、できればと思う。

**川内** 今回のモニタリングが温泉資源保全の第一歩と思うが、源泉集中管理に関してはどのような見解か。

**市長** これからも、源泉所有者に同意を得られる努力を続けるべきだと思う。

**川内** 嬉野温泉駅前温泉を利用する計画はあるのか。

**建設・新幹線課長** 温泉を利用した体験施設の計画をしている。

**川内** 駅舎内に旅の疲れを癒す手湯を設置してはどうか。

**建設・新幹線課長** それも一つの考えと思うが、鉄道運輸機構側と協議をしなければいけない。

**チャオシル入館者増の対策を**

**川内** 現在の利用者の反応は。

**市長** 気軽に入れるようになり、利用者は増えている。

**川内** 嬉野茶の歴史館でもあり、施設の内容が分かる看板を設置しては、うれしの茶振興課長 現在、計画中で検討する。

**川内** 今後の駐車場の活用を考えは。

**市長** 市民の皆様からの提案と民間事業者の意見も踏まえ、活用方法を検討していく。

**川内** お茶だけでなく、嬉野の特産品を含めた物販のイベントを開催してはどうか。

**企画政策課長** 今後、サウンディング型市場調査を実施して検討する。

文化の教育は

**芦塚** 川柳・俳句・短歌などの教育は。

**教育長** 国語の授業のほかに、短歌大会や親子川柳大会など国語科の環境として取り組んでいる。

茶と椎を併記できないか

**芦塚** 椎は旧塩田町のシンボルで、八天神社の社

地にあり、伐採を禁止された天然林で、植物学上貴重な椎の群落で県の指定を受けている。市のシンボルに併記すべきでは。

**市長** 大茶樹は国の天然記念物であり、統一シンボルは茶としたい。

**芦塚** 市史編纂にあたっては、市のシンボルの木、鳥、魚など公募しては、慎重に検討していく。

**市長** 制定においては、

慎重に検討していく。



▲西九州のハブ駅となるか！



**山口** ふるさと応援寄附金制度をどのように見直したのか。

**市長** 国からの度重なる通知を受け、苦渋の決断だったが、11月1日をもって返礼品の割合を5割から3割に戻し、返礼品の中の吉田焼と焼酎のセットが地場産品外という指摘を受けていたので取りやめた。

**山口** これまで一生懸命取り組んできた担当課長はどのように考えるか。

**企画政策課長** 苦渋の決断で、今でも非常に悔しい思いがある。ただ、このまま国に反発を続けられ、ふるさと応援寄附金の返礼品を提供している事業者や本場に嬉野市を応援してくれる寄付者に一番迷惑をかけるのではない、通知に従った。

**山口** 見直し後の状況か。

ふ

ふるさと応援寄附金の状況は

山口忠孝議員

答 11月末現在で14億円である

**市長** 前年同月比で約十分の一と大幅に落ち込んでいる。まだ国の通知に従っていない自治体に注目が集まっている。返礼品の金額ではなく、品質や物の良さで競うなら嬉野市は絶対負けないと考える。

**山口** 現在の寄附額は。

**企画政策課長** 11月末で14億円である。昨年12月は10億円寄付があったが今年是不透明である。

**山口** 現在のような状況は、

県政に関わる問題の対応は

**山口** オスプレイの佐賀空港配備の受け入れは、大野原演習場を持つ嬉野市も無関係ではない。説明はあったのか。

**市長** 公式には県からの説明はなかったので驚いた。情報が提供されれば対応していく。

**山口** 知事との会合の場でそのような話は出なかったのか。

**市長** 特になかった。

**山口** 玄海原発が再稼働されたがどう感じているか。



▲品質の良さで勝負！

**山口** 原発事故の避難計画の見直しはあったか。

**総務課長** 本市は平成27年に伊万里市と県との間で住民の広域避難に関する覚書を結んでいるが、変更はあっていない。

**市長** 将来的には脱原発をめざすべきだが、現



# 抹茶の育成と加工工場の建設を

山下芳郎 議員

## 答 民間で計画があれば市も支援する

**山下** 日本茶が低迷する中で抹茶の需要が海外を含め大きく伸びている。嬉野産抹茶として加工工場を作る考えはないか。

**市長** 小さな産地では大量生産は難しい。また、加工工場建設は高額となり、市の事業としては慎重になる。個人や法人が取り組む

のであれば、国また県の補助金があるので支援を考える。

**山下** チャオシルで石臼を使って利用者が抹茶を挽く体験や抹茶の飲料、また、和室での茶料理は検討できないか。

**市長** 組立式の茶室を活用した抹茶席を検討したい。本格的な茶料理は

難しいが、駐車場の活用で可能ではないかと考えている。

**山下** 新幹線西九州ルート暫定開業まで間近となり、リレー方式が固定化されないか懸念されるが、どう対応するか。また、地元の負担軽減策はどうするのか。

**市長** 固定化は憂慮する。国・県も固定化は望まない。関係機関と協議を重ねていく。

**山下** 整備新幹線は、どの自治体も財源で苦慮しているので先鞭となるような役割を果たす意義もあるのではないか。

**市長** 佐賀県がまとめることが大事。議論を主導していく責任がある。

**山下** 今後の進め方はどうするか。

**市長** 関係自治体を含め、他自治体とも協調を図りながら、新幹線を迎え入れる態勢にしたい。

**一方通行化はどうする**

**山下** 嬉野商店街の一方通行社会実験の結果はどうだったか。また、地域住民への説明はあったのか。

**市長** 来年2月ごろ、市民に公表する。実験結果だけで整備方法の判断はしない。幅広く意見を聞き検討する。

**山下** 有志が集い、今後の議論をしていると聞くが、どう思うか。

**市長** そのような議論は、歓迎し、連携したい。



▲八女市の碾茶工場を視察する生産者

# 期 日前投票宣誓書の回覧配布は

梶原睦也 議員

## 答 有効な方法であり、選管で諮る



影響もわずかながらあるものの、やはり若年層の投票率の低下が原因と思う。

**梶原** 18歳選挙権導入後の動向は。

**選管事務局長** 18歳の方は来ていたのだが、20歳以上の方の投票率は低くなっている。

**梶原** 期日前投票は1回目の市議選が8.02%、2回目13.01%、3回目16%、そして本年1月の市議会選挙では、21.46%と増えてきている。この点についての考えは。

**選管事務局長** 市民に期日前投票が根付いてきた。また、投票所を塩田の中央公民館と嬉野庁舎を午前8時半から午後8時まで開けており、どちらの投票所でも投票できることになったことも投票率増の要因と考える。

**梶原** 期日前投票所での宣誓書記載に抵抗があるという方も少なからずいる。宣誓書が記載された入場券の発行を望むが。

**選管事務局長** 今のところ変更の予定はない。

**梶原** 嬉野市制施行後の国政・県政・市長議会選挙等は全部で21回行われた。各選挙とも回を重ねるごとに投票率が低下しているが、その原因をどう見るか。

**選管事務局長** 高齢化の

# 日常生活用具給付品目の見直しを

諸上栄大 議員

## 答 庁舎内で検討する



**【諸上】** 障がい者支援サービスには、補装具給付事業また、日常生活用具給付事業がある。その利用者負担はどのようなになっているのか。

**福祉課長** 補装具支給及び、日常生活用具給付に関して原則として用

**市民福祉部長** 補装具に ついての補足説明だが、生活保護世帯及び、市町村民非課税世帯においては負担がなく、一般世帯の課税世帯は37,200円が上限とされている。

**【諸上】** 補装具や日常生活用具を給付した後、モニタリング等はおこなっているのか。

**福祉課長** 手元の資料にモニタリングをしたという状況はない。また、データもない。不満が出た場合にその都度、修理対応をおこなっている。

**【諸上】** 日常生活用具給付や補装具給付に対しては貸与という方法はないのか。

**福祉課長** 当市の日常生活用具給付実施要綱の中に貸与は定めていないため、今後要綱改正を含め検討課題としたい。補装具については国の基準でも平成30年4月に補装具支給に貸与というのが追加されている。限定的だが認められていると理解している。

**【諸上】** 当市においても貸与の検討や品目の追加をおこなうべきだと考えるがいかがか。

**市長** 一人ひとりに寄り添うという基本姿勢に立てば、使い勝手のいいものにしていく努力は必要だと考える。

**【諸上】** 日常生活用具給付事業の在宅療養支援用具品目は殆ど電気を使用し動く器械だが、補助電源等を備えているのか。

**福祉課長** バッテリー等についてはのか確認が

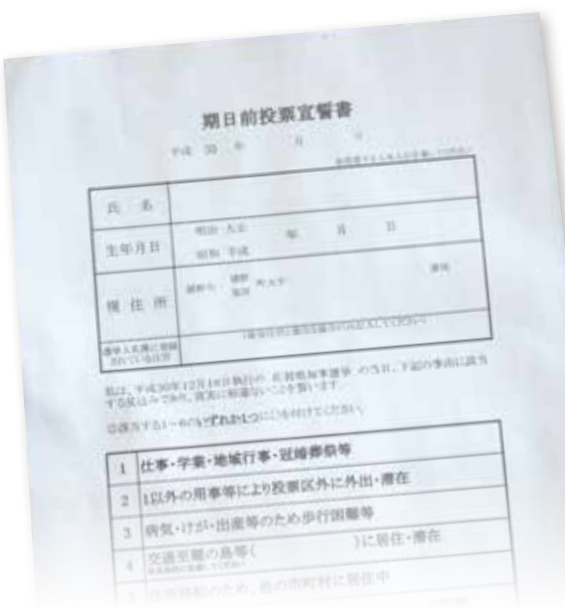


▲非常時の電源確保を！

取れていない。

**【諸上】** 仮に、バッテリー機能が備わっていないとしたら、停電時や災害時には使用できない。武雄市でも取り組まれているようだが、障がいや難病をお持ちの方々が安全に安心して在宅で生活できるように、発電機を給付品目の追加としては考えられないか。

**市長** 武雄市の事例もあるので、庁舎内で検討して行きたい。



▲手続きを簡素化せよ

**梶原** 宣誓書はパソコン等でダウンロードできるが、高齢者等には厳しいものがある。期日前投票宣誓書の回覧配布はできないか。

**市長** 有効な方法ではないかと考える。選管ではか。

**梶原** 投票所での高齢者や障がい者の方へのきめ細かな対応が必要と考えるが。

**選管事務局長** 介添えや記載台までの案内、場合によっては代理投票を行う。

**梶原** 日本人観光客や外国人観光客への災害時対応を急ぐべきではないか。

**市長** 災害に対し、どのような案内が適切なのか議論を始める必要がある。看板設置については多言語対応を検討する。

### 災害時の対応を急げ

# 水源保護の所管はどこか

辻 浩一 議員

**答** 環境下水道課で研究している



**辻** 地下水の汲み上げに、規制はできないと思うがどうか。  
**環境下水道課長** 地下水の汲み上げの規制は現在できない。  
**辻** 今の法律の中では、地下まで地権者

の権利だが、長野県の佐久市では、地下水は公共物との観点から、取水の口径や一日の取水量についての規制をかけられていた。同じ観点から独自の規制ができるのではないか。

**環境下水道課長** 地下水及び伏流水を水道水源としている地域に関しては、そういった規制が必要だが、嬉野市は基本的に河川とダムが水道水源となっているので、喫緊に地下水の取水に関する制限は必要な状況ではないと考える。

**辻** 水道水源のダム上流部の集水林に、大量に水を必要とする事業所等ができた場合、流れ込む河川は表流水だけではなく、地下水も関係していると思うがいかがか。

**環境下水道課長** 地下水の技術的な事に関しては、研究が必要だと思う。

**辻** 市長の見解はどうか。  
**市長** 環境保全とい

# コンセプト絵巻の今後の活用について

山口虎太郎 議員

**答** 今後、設置場所の変更やイベント時に使用する



**山口** 嬉野温泉駅コンセプト絵巻業務に契約書、事前承認書、設計書他完了書等がないが、なぜか。  
**産業建設部長** この事業は30万円以下で必要がない。

**山口** 嬉野温泉駅コンセプト策定1工区業務委託の受注会社について、従業員はいるのか。また会社代表は月にどれくらい出勤しているのか。  
**産業建設部長** 私の記憶では社長含め3名の構成員と認識している。会社代表の出勤状況までは把握していない。

**山口** 9月議会の全員協議会で、副市長よりガイドライン策定業務委託受注会社における資料

流失の件で、再度無償で作直させるか、またそれに応じなければ損害賠償請求する旨の説明を受けた。そして、今12月議会で受注会社が無償で作直すとの説明がされたが、一旦流失した会社に無償でもまた作り直させることが問題であり、この会社がガイドライン作成業務を出来るような会社ではないという疑問点がある。

また随意契約をされているが、必要書類のうち、三分の二が参考資料であり、担当課でできる仕事ではないかと思え、そこに多額のお金が使われていることに納得できない。

また随意契約をされているが、必要書類のうち、三分の二が参考資料であり、担当課でできる仕事ではないかと思え、そこに多額のお金が使われていることに納得できない。



▲絵巻の効果は？!

コストを下げて最大の効果を得るための競争入札は欠かせないと思う。契約書上受注会社の再委託を禁じているが、今回の件は契約違反ではないか。  
**産業建設部長** 随意契約という契約行為自体は、地方自治法でも認められており契約違反ではない。

**市長** 今回の一件に関しては、その契約上の瑕疵があったということは無償による補修を要請した。  
**山口** お茶生産者活性化施策として、農泊等の具体的な取り組み、茶販売事業者への施策はどう考えているのか。  
**市長** 有楽町にある佐賀県への移住相談窓口の紹介で、農泊は2、3件把握している。茶販売事業者の施策は今後産地としてのPRをしていく中に組み込まないか考えている。





▲飲料水の安全保障を

観点から、そういった規制は考えなくてはいけない気がする。様々な専門家の意見を踏まえながら、担当課と協議していきたい。

**辻** 水源保護の問題になったのは、ダム上流に産業廃棄物処理場ができてからである。だが用地については民地がほとんどであり、行政として一方的に規制はかけられないと思う。産廃処理場の設置認可は県なので、飲料水源に関する土地につ

いては、処理場の設置ができないような条例を制定するように、県への働きかけが必要ではないか。

**市長** 水質保全の重要性は認識しているのですが、働きかけをしていますが、と考えています。水の源であり、産廃が立地すれば心理面でもよくないし、実害があった場合は広範囲に影響がある。こういった点に憂慮していることを伝えたい。



**宮崎** 歳入で強調されたことは。

**市長** 収納対策もしっかりやり、適正な税徴収にも努める。

**宮崎** 歳入は、どのような点に注意されたか。

**市長** 扶助費等、福祉は削減が難しい。サービスを維持するためにも削れるところは削る。減額ではなく、政策的な査定も考えている。例えば、イベント行事ごとの統合再編も視野に入れている。一方で、九州新幹線西九州ルートの開業効果を最大限発揮するため、未来への投資は、逆に節約しすぎてはいけないうと思っており、しっかり選択と集中で投資していく考えである。

**宮崎** 市長選挙の際、市民に訴えられた政策は、どういう形で予算にあらわされていくのか。

平

成31年度の予算編成方針は

答 中期財政計画に基づき充実を図る

宮崎一徳議員

**市長** 雇用の創出は、企業誘致に力を入れる。

農業戦略は、農業の担い手不足が深刻な問題。省力化、若者が希望を持てるスマート農業の推進にICTの活用を視野に入れた予算編成を意識している。高齢者対策は、今のサービス維持が大原則だが、健康マイレージ制度を導入し、市民の健康増進を図る。また、医療費削減にも取り組む。

**宮崎** 財政健全化については、どのように考えられているか。

**市長** 市税の大幅な伸びが見込めない中で、現在の住民サービスを維持向上させながら、将来的に持続可能な行政運営を行うためにも、財政健全化は不可欠だと考えている。

**宮崎** 人口構成が現時点より悪化した場合の懸念があるが。

**市長** ある程度は自然減を踏まえて受け入れる必要がある。生産人口の減少をいかに防ぐか、「働く場所をつくる」、「住む場所を置いて、人口減少を少しでも食い止める施策も今後必要である。

その他の質問

■嬉野温泉商店街の活性化について

■市民の文化活動と施設について

■ふるさと応援寄附金制度について



▲健全な財政運営をのぞむ



# 農

## 福連携をどのように進めるか

増田朝子議員

### 答 基本を忘れないようにしたい

**増田** 農福連携についての考えは。

**市長** 農業従事者の高齢化による農業労働力の減少、耕作放棄地の増加と障がい者の自立支援の観点から、農業者と福祉施設のマッチングが必要だと考える。

**増田** 嬉野市において福祉施設における農業に関する現状は。

**福祉課長** 市内では2ヶ所の福祉施設で取り組んでいる。

**増田** 農福連携をどのように進めていくのか。

**市長** 土地所有者と福祉施設のマッチングが必要だが、情報発信も進めていく。一人ひとりが活躍できる、その人が輝ける場所、その基本は忘れないようにしたい。

**一方通行化社会実験の今後は**

**増田** 一方通行化実証実験の経緯は。

**産業建設部長** 歩道、歩行空間を有効に確保しようという計画した時に車道が狭く、一方通行に結びついていった。

**増田** これまで5回の検討会がなされたが、最初から一方通行の話し合っていたか。

**産業建設部長** 第3回目から一方通行の社会実験をしようということになった。

**増田** 地区住民との対話も合わせて進めなければならぬとあるが、なされたか。

**産業建設部長** 話し合いの中で話が伝わっていくものだと考える。

**増田** 地元の方への説明を丁寧にしていただきたいという要望が何回も出ているが、いかがか。

**市長** 説明不足ではない



▲雇用者とのバランスが重要

いかなの指摘は、真摯に受け止める。

**増田** 一方通行化の今後はどのように考えているか。

**市長** 一方通行化反対の署名を提出された時も一方通行をするための社会実験ではないというこ

とは伝えた。皆さんのアイデアもすっかりすくい上げながら、温泉街の活性化につなげていきたい。

**その他の質問**

■空き店舗改修事業について

# 企業誘致ビルの機能の複合化を

山口卓也 議員

## 答 働く場としての性質を考え、検討しない



**山口** 人口減少時代では、全体の財政負担を考慮し、公共施設の機能の複合化が重要だと思いがいかか。

**市長** 一般論として公共施設の機能を組み合わせ賑わいを創出する方向性には賛成するが、企業誘致ビルは静かな仕事環

境を優先するため複合化については検討しない。

**山口** 1階にテナント部分やスポーツジムを併設することはできないか。

**市長** 健康増進という点では良いと思うが、経営という点で考えると慎重な検討が必要だ。

**山口** 企業誘致ビル単体で考えるのではなく、まち全体での最適化を図ることが重要だと思いがいかか。

**市長** 駅周辺は新しくできるまちでありゾーニングをしながら全体最適を図っていく。

**山口** 2階建てのオフィスのみで計画で確定か。

**企画政策課長** 2階建てで決定し、変更はできない。

**市長** 既に入居が決まっている企業の状況もあり、全体的なスケジュールを総合的に勘案し決定している。

**地域おこし協力隊の導入方針は**

**山口** 地域おこし協力隊の増員の予定はあるか。



# 嬉野庁舎の安全性評価を受けての考えは

宮崎良平 議員

## 答 検討委員会を立ち上げ総合的に検討する

**宮崎** 嬉野庁舎耐震診断の評価結果をうかがう。

**市長** 第一庁舎については大規模地震の震動及び衝撃に対して倒壊、または崩壊する危険性が高いという診断結果が出ている。また、佐賀県建築物耐震性能判定特別委員会の判断としては、耐震

性が低く補強が必要であり、鉄骨ブレースやコンクリート壁など全体的な補強が必要とされている。

しかし、庁舎内全体にコンクリート壁を増設するとなれば事務所としての機能が失われるため、そのような工事は適当ではないと考えている。

**宮崎** 通常このような評価結果が示された場合、どのような対策を取るべきなのか。

**産業建設部長** 本来であれば早急に補強工事等に着手するべきであるが、今後の庁舎のあり方等まで含めた、検討委員会の中で早急に検討していきたい。

向上という点も必要ではあるが、まずは市民の安心安全を守ることが市の責務として一番重要であり、また当然市役所は市内で一番安全な場所でないといけないと考えているかがか。

**市長** 今年7月に発生した豪雨において塩田川の水位が上昇し、危うく孤立寸前という状況の中で、防災拠点としての庁舎というのも念頭において議論を進めていく必要があると考えている。また併せて、まだ整理しなければいけない課題があり、合併の経緯から含めて丁寧に進めていきたい。



▲強度不足の嬉野庁舎

**市長** 民間・市民の皆さんも交えた検討委員会の中で、あらゆる選択肢を排除しないという考え方に立ちたい。

**その他の質問**  
 ■嬉野商店街一方通行化社会実験について  
 ■ヘルプマークについて



▲期待される企業誘致ビル予定地

**市長** 増員を検討している。広報・情報発信、農業、林業、移住などの分野での活用が考えられる。

隊は地域外の視点を地域おこしに活用する、とても良い制度である。市は基本目標として『人』が輝き活力あふれるまち』を掲げているが、地域おこし協力隊の活用についての意気込みはいかがか。

**山口** 複数分野での導入を検討しているが、担当部署を定めるべきではないか。

**市長** 後に続く人材を育成していく中で次世代の人づくりは大事なテーマである。今後も基本を忘れず市政運営にあたっていきたい。

# 動く!!委員会

## 人口減少について

### 総務企画常任委員会

少子高齢化に伴う人口減少問題は避けては通れない課題である。

就職や進学で地元を離れていく高校生に地元への回帰を促す施策に取り組み、さらに、地域づくりに結び付けている福井県大野市を視察した。

#### 委員会の意見

大野市も人口減少が課題であり、これからも大幅に減少することが予想される。

大野市は平成25年に第5次総合計画で「越前おおのブランド戦略」を策定し、その取り組みに「大野へかえろう」事業を進められている。



▲高校生に焦点を当てた人口減少対策を学ぶ

高校生という若者に焦点を当て、将来地元へ帰って来て、このまちを支え人口減少に歯止めをかけたという視点である。その効果は即効性がなく見えにくいですが、当市においても、自分が育つたまちの歴史を人格形成時期の高校生に植え付けるなどの、長期的な視点に立った施策が必要ではないかと考える。

## 農福連携について

### 文教福祉常任委員会

本市は、第2次総合計画に「農福連携」を掲げた。「農福連携」の先進地である三重県名張市の「名張市障害者アグリ雇用推進協議会」と京都府京田辺市の山城就労支援事業所「さくらさん山城」を視察した。

#### 委員会の意見

両施設の取り組みは、地元障がい者の農業を核とした労働機会の拡大や社会参加につながっている。

担い手が不足する農業と就労先の確保が困難な障がい者とのマッチングで、両者の課題を解決しようとする農福連携は、障がい者だけでなく、社会参加ができない人が農作業に従事することで自分の居場所を見つけ、心身の成長に好影響を及ぼすことで、地域の



▲先進的な取組みを学ぶ

人との交流で地域づくりへつながると考える。本市において農福連携を進めるにあたり、農業と福祉のニーズを把握、整理し、さらに双方をマッチングするコーディネートが必要であり、そのためにも各種団体や協議会の設置など環境整備が必要であると考える。

## 水資源の環境保全について

### 産業建設常任委員会

市民の暮らしと安全を守るための新しいルールづくりについて無秩序な地下水の取水の制限を規制するために「佐久市地下水保全条例」を策定した長野県佐久市役所に視察を行った。

### 委員会の意見

水資源の環境保全について、佐久市は条例を策定することで、供給源の地下水の保全に務められた。

当市の水道事業は、2年後に広域企業団での統合を目指しているが、災害等での断水時に対する対応として現浄水場から生活水を確保できるように整備を望む。

また、温泉水や森林

## 新幹線駅前のまちづくりについて

### 産業建設常任委員会

九州新幹線西九州ルート嬉野温泉駅（仮称）周辺のまちづくりについて、自然のエリアに地場産品と風土を活かしたまちづくりを行っている長野県軽井沢町の星野リゾート・ハルニレテラス（商業施設）と開業数年経過した長野県佐久平駅周辺のまちづくりの視察を行った。

九州新幹線西九州ルート嬉野温泉駅（仮称）周辺のまちづくりについて、自然のエリアに地場産品と風土を活かしたまちづくりを行っている長野県軽井沢町の星野リゾート・ハルニレテラス（商業施設）と開業数年経過した長野県佐久平駅周辺のまちづくりの視察を行った。



▲完成しつつある佐久平駅周辺整備を視察

### 委員会の意見

「星野リゾート・ハルニレテラス」のように、ここだけの土地や風土に合う地産材を活かした建屋で人を癒し、誰もが訪れたいくなる空間を目指して取り組むべきだと考える。

当市においても、駅前の商業地は民間による運営がベストではないかと考える。

### 「佐久市佐久平駅周辺のまちづくり」

佐久平駅は当初、地平駅だったが、橋上駅となり交通の利便性が上がった。当市も、橋上駅であり、昇降機の十分な整備と広域的な観光や通勤ができる公共交通計画等を検討すべきである。

## 人事

嬉野市教育委員に  
同意しました  
荒武 治美 氏  
嬉野町

## 閉会中の委員会付託案件

付託委員会	付託事件名
議会運営委員会	各期の議会の会期日程等
議会広報編集特別委員会	議会広報の編集発行にかかる調査
議会活性化特別委員会	議会の活性化を図るための調査
議会 ICT 化に関する特別委員会	議会 ICT 化に関する調査研究

# ときの人

## 塩田中学校駅伝部 ダブル優勝

平成30年11月9日に開催された、佐賀県中学校駅伝競走大会において、見事男子・女子ともに優勝という素晴らしい結果を出された塩田中学校駅伝部を紹介します。男子キャプテンの石丸徳一君、女子キャプテンの山崎若葉さんから話を伺いました。

**問**…県大会で優勝した感想は？

**石丸君**…終わって、ほっとした。優勝出来て良かったです。

**山崎さん**…今まで、辞めたいと思ったこともあったが、続けてきて良かったです。

**監督**…正直な気持ち、うまくいけば男子は優勝できると思っていて、狙っていました。女子も、ベスト3に入ると思っていました。

**問**…どれくらい練習した？

**石丸君**…1日1時間半から2時間程度、週6日は練習している。1日の練習では、大体10kmくらいは走っています。

**問**…駅伝の楽しいところは？

**石丸君**…調子が良い時にはタイムも上がるし、自分の頑張り次第でタイムに反映することかなあ。

**山崎さん**…試合などで、自分だけでなくチームのみんなを応援してもらえなことかなあ。

**問**…キャプテンとしてどのようにチームをまとめた？

**石丸君**…練習の時、遅い選手にも自分がペースを合わせて一緒に走り、常に声か

けを行いながら、コミュニケーションをとりました。

**山崎さん**…自分は特に何もしていないと思う。後輩も含め他のメンバーみんなから支えてもらいました。

**問**…監督はどんな人？

**石丸君**…普段の練習では面白く、やさしいです。

**山崎さん**…試合の時になると、口調が厳しく、怒っているのかな？と思う時もあります(笑)。

**問**…家族、友人、知人に一言？

**石丸君**…いろいろな方から、全国大会まで応援してもらって、嬉しかったです。ありがとうございます。

**山崎さん**…家族には、試合のたびに応援に来てもらって、嬉しかった。他のメンバーには、自分よりしっかりしていて、いつも支えてくれてありがとうと言いたい。

**問**…将来の夢は？

**石丸君**…箱根駅伝に出場し、走りたい。

**山崎さん**…陸上を続けていく事です。

**議**…両キャプテンともに、受験前で特に石丸君は、都道府県駅伝大会の佐賀県代表メンバーに選出され、非常に忙しい中、爽やかな笑顔で対応してくれました。

両キャプテンともリーダーシップを発揮し、チームをまとめ、強い絆で纏をつなげたことで、県大会ダブル優勝という素晴らしい結果につながったと感じた。二人とも、陸上を続けるこの事で今後の選手たちの活躍を期待し、応援していきたい。



### コラム

地球温暖化という言葉を聞いて久しい▼1997年12月京都議定書が議決された当時は、さほど気にも留めていなかったが、近年の気象災害を目の当たりにし、その意味をかみしめている▼国をはじめ行政機関は国民の命を守るために、インフラ整備を含め様々な施策を打っていないかなければならないが、国民全員の命を守るためには、膨大な時間と莫大な費用がかかる▼災害はいつ、どこで発生してもおかしくない▼私たちは、自分の命は自分で守る意識を持ち、普段から安全な場所、対策を心がけ、早期避難に努めることが、現時点ではベストな選択ではなからうか。(浩一)

### 議会広報編集特別委員会

委員長	宮崎 良平
副委員長	芦塚 典子
委員	山下 芳郎
〃	辻 浩一
〃	増田 朝子
〃	山口虎太郎
〃	諸上 栄大